12
December 2017
No.738

# 熊歯会報

Kumamoto Dental Association

熊本県歯科医師会

平成29年度笑顔ヘルCキャンペーン写真コンクール会長賞「出番待ち」

## CONTENTS


- 巻頭言（常務理事　田上 大輔）…… 3
- 理事会報告 …… 4
- 報告（熊本空港航空機事故消火救難総合訓練）…… 6
- 委員会報告 …… 7
  （厚生・医療管理、学術、社会保険、広報、医療対策）
- 笑顔ヘルCキャンペーン ……16
  （山鹿市、上益城郡）
- 郡市会報告 ……17
  （山鹿市、阿蘇郡市、玉名郡市）
- 新入会員 ……18
- リレー投稿⑫ ……19
- 会務報告 ……21

# ― 歯科医師の倫理綱領 ―

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人　日本歯科医師会

## 表紙に寄せて

今年度の笑顔ヘルC写真コンクール会長賞、武田 博さん（益城町）の写真です。

この他優秀賞１点、奨励賞１点、佳作５点、の計８点を本会ホームページに掲載しています。一度ご覧ください。

（T・K）

# 歯科に求められる
# リエゾンサービス的役割

常務理事　田　上　大　輔

本会が展開しているがん連携、回復期連携、糖尿病連携や早産予防等の医科・歯科医療連携は着実に成果を上げつつあり、５疾病５事業における多職種連携での歯科の役割の確立につながっています。本県に限らず、全国の都道府県歯科医師会で実施されている医療連携の取り組みや調査研究結果が結集されて、2017年の政府骨太の方針の中に「生涯を通じた歯科健診の充実、入院患者や要介護者に対する口腔機能管理の推進などの歯科保健医療の充実」が盛り込まれました。

メタボリックシンドロームなどの生活習慣病の発生をさかのぼると、栄養摂取に関わる咀嚼や咬合機能へたどり着きます。つまり、齲蝕や歯周病を予防することが生活習慣病や各種疾患や重症化・合併症の防止につながっており、各種歯科健診の充実が重要です。また、重症化した疾患や合併症の部分においては、口腔機能管理がその後の医療効果を高める、いわゆる支持療法としての機能を有しています。これらについては、保健医療介護の現場においてその認知度が年々高まってきています。

さて県下には、がん、脳卒中、心筋梗塞や骨折等に対応した個別のクリティカルパスが存在しています。それらのクリティカルパスは基本的には相交わることなく、それぞれが独自に完結するものです。しかし、地域住民の一人ひとりに焦点をあてれば、その人の一生の中で複数の疾病による入退院とそれに関連する複数のクリティカルパスを経験する可能性は否定できません。つまり、医療サイドからはそれぞれが個別のクリティカルパスであっても、住民サイドからすれば、それぞれが繋がりのある地域連携パスであると言えます。

各種クリティカルパスにより急性期病院から回復期病院を経て地域に戻った患者さんを今度は地域住民として、医療・介護の関係者が役割分担を行い地域全体で支えてゆくといった一連の仕組みが地域連携パスであり、地域包括ケアシステムの中の重要ポジションと言えます。この地域連携パスにおいてはお互いに情報共有をすることが重要で、そのためのリエゾンサービスの担い手が不可欠です。リエゾンとは「連絡係」と訳され、保健医療介護の現場でのコーディネーターの役割を意味します。このリエゾンサービスの担い手は保健師であったり、ケアマネージャーであったり、かかりつけ医であったりしますが、近い将来、全てのクリティカルパスに不可欠の存在となることが予測される歯科もまた、リエゾンサービス的役割が求められると考えます。

理事会報告

# むし歯予防全国大会が大盛況に終了

## ― 第６回理事会 ―

10月25日（水）午後７時より県歯会館において、浦田会長他大林理事を除く全役員の出席のもと開催された。

１．開会：小島副会長

２．挨拶：浦田会長

先日のむし歯予防全国大会は大変お疲れ様でした。全国の先生方や知事からも大会についてお褒めの言葉をいただき、また懇親の場におきましても、熊本の先生方のおもてなしの心を感じたという言葉を頂戴しました。万全に準備いただいた渡辺副会長、大林理事をはじめ、皆さんのご協力に対し感謝申し上げます。また、衆議院総選挙については、ご承知の通りの結果となりました。これで、腰を据えて来年度の対応ができると思っています。県行政におきましても第７次保健医療計画策定にしっかりと対応していきたいと考えております。

これから年末にかけて忙しくなりますが、ご協力を賜りますようお願いしまして挨拶とさせていただきます。

３．議長選出：浦田会長

４．議事録署名人：中嶋監事、西野監事、浦田会長

５．平成29年度会務報告：

（自：９月25日～至：10月22日）

本会総務：理事会、常務理事会、財務検討臨時委員会

社会保険：保険個別指導、県における医療費の見通しに関する計画検討委員会

地域保健：九州各県地域保健担当者会

学校歯科：むし歯予防全国大会

医療対策：九州各県歯科医療安全担当者会、医療相談・苦情事例報告

総務・医療連携：回復期医科歯科連携事業運営協議会

学院：高校推薦・指定校推薦入学試験

以上、各担当役員より報告がなされた。

６．報告事項：

１．制度・税制改正に関する要望書

日歯・日歯連盟作成の平成30年度制度・予算要望書の重点項目のチラシを活用する。

２．表彰

- 文部科学大臣表彰
  福田 民男　会員（八代）
  表彰式：平成29年11月16日（木）「全国学校保健・安全研究大会」（於・三重県）
- 日学歯会長表彰
  元島 博信　会員（熊本市）
  表彰式：平成30年３月28日（水）「日学歯臨時総会」（於・日歯会館）
- 平成29年度県高等学校保健功労者表彰
  松本 文隆　会員（宇土郡市）
  表彰式：平成30年１月26日（金）「県高等学校保健研究協議大会」

３．退会会員

- 故　田中 穣　会員（終身／上益城郡）
  82歳　10月３日ご逝去

４．代表歯科医の変更

翼ハロー歯科・内科診療所（第４種／熊本市）の代表歯科医の変更があった。

５．「中国・四国」「九州」地区役員連絡協議会提出協議題

大規模災害時の二地区応援体制と各県の災害協定の状況についての協議題を提出する。

６．日歯作成プロモーションDVDの活用

機会があれば活用する。

7．中小企業グループ施設等復旧整備事業に係る交付決定状況
　10月２日現在、交付決定は申請の68.6％となっている。
8．県学校保健会協力寄付金
　今年度は、会員178人より442口で132万６千円の寄附があった。
9．事業企画書
- 医療対策委員会：『医療対策講演会』（11月25日）

10. 事業実施報告
- ８月末がん及び回復期の医科歯科連携事業

11. ９月末会計現況
12. その他
- 九州歯科医学大会参加者数・厚生行事の結果
- 第７次保健医療計画暫定版
  関係する各所管で活用する。
- アマルガムに関する新聞記事
  日歯の以前の見解を参照し、本会としての対応を検討する。

7．連絡事項：
1．11月行事予定
　12月理事会を、27日（水）から28日（木）に変更する。
2．平成30年度各委員会概算要求協議日程（案）
　各委員会概算要求日程については11月７日・９日とし、各委員会前年度比15％予算削減を目処に編成することとする。

8．承認事項：
1．新入会員の承認〔承認〕
渡邉 康（第２種／熊本市）の入会を承認した。
※29年度入会状況（10月末現在）：第１種・11人、第２種・６人、第３種・５人、第４種・２医療機関
2．県警察歯科医会理事並びに第17回警察歯科医会全国大会実行委員会委員のメンバー追加〔承認〕
　宮井理事を追加することを承認した。
3．関係機関・団体からの役員等の推薦依頼〔承認〕
- 歯科医師国民年金基金代議員／歯科医師国民年金基金
  牛島 隆　専務理事　任期：平成30年４月１日～平成33年３月31日

4．後援名義の使用依頼〔承認〕
- 第９回県民公開講座／県歯科衛生士会
- 第65回熊本小児保健研究会／熊本小児保健研究会
- 熊本小児歯科懇話会80回例会／熊本小児歯科懇話会
- 第３回健康・省エネシンポジウムin熊本／健康・省エネ住宅を推進する国民会議

5．次年度会館使用申込の許可〔承認〕
　早期の使用申込許可願について承認した。

9．議題：
1．役員等選挙規則の一部改正（案）〔承認〕
　一部改正案について承認し、３月の臨時代議員会へ提出する。
2．予備選挙及び役員等選挙実施要領の一部改正（案）〔承認〕
　一部改正案について承認した。
3．宮崎県歯会、鹿児島県歯会との災害時相互応援に関する協定書〔承認〕
　協定書について承認し、３県でそれぞれ承認の上で12月を目処に協定を締結する。
4．３月開催の臨時代議員会までのスケジュール〔承認〕
　スケジュール案について承認した。
5．「いい歯の日」企画　熊日新聞広告掲載内容〔承認〕
　広告案に一部文言を追加することで承認した。

10．協議事項：
1．ネット会議
　今後、委員会開催等で使用を検討することとする。

11．監事講評：
12．閉会：渡辺副会長

（広報　竹下 憲治）

報 告

# 航空機事故を想定して

## ― 熊本空港航空機事故消火救難総合訓練 ―

10月20日（金）午後１時30分より、熊本空港航空機事故消火救難総合訓練が小雨の降りしきる寒空の下で開催された。まず、空港に近接した熊本県防災消防航空センターで行われた。消防車両と救急車両の併せて20台弱が参集し、熊本県警、熊本大学、警察医会、日赤、県医師会、県歯科医師会、菊池・上益城・阿蘇郡歯科医師会などの各関係機関及びボランティアも含め参加者300人とかなり大規模な訓練となった。今回は防災ヘリも動員され、消火活動や救助活動を皮切りに、臨時の救護所用テントを張ることから始まった。

本訓練は、航空機事故を想定したものであったので、最初にトリアージの選択がなされ、その後検視を行うという手順で行った。検視班は、検視テントに移動して、まず、損傷の記録、死因の確定、身元確認情報の収集があり、歯科学的検査を行うという流れであった。

歯科医師会のメンバーは、警察医会から、田代正博会員、児玉睦雄会員、片山公則会員、神戸威会員、矢毛石陸男会員、今村友信会員の６人が参加し、郡市からは、田中弥興会員、髙木公康会員、清村龍朗会員、県歯から渡辺副会長と私と奥村次長の参加であった。我々歯科医師は、その検視において身元確認の模擬訓練を行った。総括を、捜査一課の田中検視官が行い、警察医会の川口会長、県歯会の渡辺副会長の監修のもと、２班に分けて行われた。

歯型による身元確認

最初、ご遺体に合掌することから始まり、それぞれご遺体の上下顎骨による検視を行った。歯型による身元確認は、生前の歯科受診の記録と照合することにより、迅速かつ費用負担も少なく行えることや、損壊の激しいご遺体にとってはかなり有効であるなどの話しがあった。その後、検屍表の記載のポイントやその扱いについて説明があり、検屍書類を警察係官に渡して、模擬の検視訓練を終了した。益城南消防署長と熊本空港長から講評があり午後３時過ぎに終了した。

今回の航空機事故などの様に大規模災害における歯科医師としての役割は大きく、日ごろからこのような災害を想定した訓練により、大規模災害時にその成果が示されると感じた。

（赤尾 浩彦）

お知らせ

## 事務局の年末年始休業

仕事納め：12月28日（木）午後５時・業務終了
年末・年始休業期間：12月29日（金）～１月３日（水）
仕事始め：１月４日（木）午前８時30分・業務開始

委員会報告

# いつまでも若々しい先生方

## ― シニア倶楽部 ―

厚生・医療管理

9月30日（土）午後6時よりホテル日航熊本において41人の参加を得て、シニア倶楽部が開催された。まず懇親会に先立ち、午後4時より社保委員会主催で熊本市現代美術館研修室にて社会保険研修会が行われた。

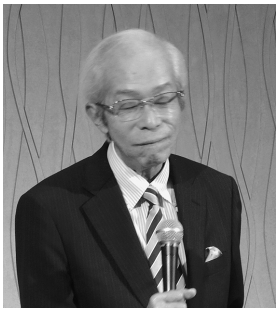
研修会終了後、懇親会場に場所を移し、参加者に県歯役員が加わり記念写真撮影が行われた。

その後、池嶋委員長の司会進行のもと、小島副会長の開会の辞でいよいよ懇親会が始まった。はじめに浦田会長より「月末のお忙しい中、多くの先生に参加いただきありがとうございます。会の運営はスムーズに進行しており、先生方のご協力に感謝いたします。」と挨拶があり、加えて、「経済財政運営と改革の基本方針2017」において、国が社会保障の枠組みの中において口腔と全身との関係性を認め、歯科健診、口腔ケアの充実を推進する意思表明をしたこと、医科歯科連携充実などについても報告があった。

次に参加者を代表して堀川秀一会員より挨拶があり、そののち、白寿を迎える師井淳吾会員の乾杯により、宴が始まった。しばしの歓談のあと、寿賀会員8人（白寿の師井会員、傘寿の木庭邦夫会員、堀川秀一会員、田中仁会員、高森経義会員、喜寿の神戸威会員、若江英敏会員、古希の冨永英俊会員）の表彰が行われた。浦田会長より、お祝いの記念品贈呈があり、代表して高森会員が謝辞を述べられた。その際、師井会員からもご挨拶を頂いた。

しばしの歓談後、会場の雰囲気も最高に盛り上がった頃、カラオケタイムが始まった。今回のトップバッターは坂田光輝会員であった。武末憲一会員のカラオケでは踊りも披露いただいた。その後、カラオケタイムはまだまだ続いた。

余興が終わってからは酒量はさらに増え、歓談で大いに盛り上がった。どのテーブルも和やかな雰囲気で、笑顔が溢れていた。



あっという間に楽しい時は過ぎ、最後のサプライズとなり、本日参加の先生方の中から、年齢順トップ５の方々へプレゼントを贈った。

その後、渡辺副会長が万歳三唱の音頭を取り、皆でお互いの健勝を願って万歳三唱した。最後に、牛島専務理事の閉会の辞をもって懇親会は終了となった。

参加いただいた先生方に感謝すると共に、来年も多くの先生が元気に参加されることを期待したい。

（池嶋 由希）

平成29年度寿賀会員（年齢順）

| 郡市名 | 氏　名 | 寿賀 | 郡市名 | 氏　名 | 寿賀 | 郡市名 | 氏　名 | 寿賀 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 熊本市 | 髙崎敬正 | 白寿 | 上益城郡 | 神戸威 | 喜寿 | 玉名郡市 | 加藤輝子 | 古希 |
| 熊本市 | 師井淳吾 | 白寿 | 下益城郡 | 河野敬明 | 喜寿 | 球磨郡 | 太田良生 | 古希 |
| 人吉市 | 花田桂助 | 卒寿 | 天草郡市 | 規矩保 | 喜寿 | 八代 | 上元健一 | 古希 |
| 玉名郡市 | 城井陽子 | 米寿 | 上益城郡 | 野田和生 | 喜寿 | 宇土郡市 | 松本文隆 | 古希 |
| 熊本市 | 秋山恭介 | 米寿 | 熊本市 | 一瀬英輔 | 喜寿 | 熊本市 | 久保田晴一 | 古希 |
| 菊池郡市 | 鹿井省文 | 米寿 | 熊本市 | 関剛一 | 喜寿 | 熊本市 | 添島正和 | 古希 |
| 山鹿市 | 田中仁 | 傘寿 | 熊本市 | 内田隆 | 喜寿 | 熊本市 | 千場敏昭 | 古希 |
| 熊本市 | 木庭邦夫 | 傘寿 | 天草郡市 | 横山紘二郎 | 喜寿 | 天草郡市 | 中村社綱 | 古希 |
| 熊本市 | 堀川秀一 | 傘寿 | 水俣・芦北郡市 | 若江秀敏 | 喜寿 | 上益城郡 | 入江英仁 | 古希 |
| 阿蘇郡市 | 高森経義 | 傘寿 | 人吉市 | 那須智治 | 喜寿 | 菊池郡市 | 永田廣次 | 古希 |
| 八代 | 上三垣晋甫 | 傘寿 | 熊本市 | 杉野陽二郎 | 喜寿 | 熊本市 | 逢坂亘彦 | 古希 |
| 八代 | 多田集一 | 傘寿 | 熊本市 | 宇治道孝 | 喜寿 | 熊本市 | 伊藤友巳 | 古希 |
| 天草郡市 | 長山裕子 | 傘寿 | 熊本市 | 青木道育 | 古希 | 熊本市 | 村上雄二 | 古希 |
| 天草郡市 | 青砥忠孝 | 傘寿 | 天草郡市 | 長野圭子 | 古希 | 玉名郡市 | 冨永英俊 | 古希 |
| 山鹿市 | 平井和紀 | 傘寿 | 熊本市 | 前野正春 | 古希 | 熊本市 | 弥永康博 | 古希 |
| 熊本市 | 緒方義昌 | 喜寿 | 熊本市 | 藤波剛 | 古希 | 熊本市 | 赤城公徳 | 古希 |
| 水俣・芦北郡市 | 伊藤俊一 | 喜寿 | 人吉市 | 佐々木満博 | 古希 | 計 | | 51人 |

委員会報告

# 歯科医療の原点と将来を見据えて

## ― 九州各県学術担当者会 ―

学術

9月30日（土）午後2時より大分県歯会館において九州各県学術担当者会が開催された。日歯より佐藤理事、大分県歯より役員他学術委員および各県の学術担当者2人ずつの計28人の出席があった。本県からは井上理事と馬場委員長が出席した。

大分県の安部学術委員長の司会で、柴崎副会長の開会の辞、長尾会長、日歯佐藤理事より挨拶が行われた後、議長に大分県の吉村理事、副議長に佐賀県の古庄理事が選出され会議が開始された。

はじめに、日歯佐藤理事より日歯報告が行われた。29年度の生涯研修セミナーの実施要領について、メインテーマに「歯科医療の原点と将来を見据えて」と掲げ、日歯と都道府県歯科医師会との費用、運営の分担、講演形式セミナーの各地の開催日程、担当講師、またDVD形式について、その企画案が説明された。

続いて、歯科専門医制度の試案について超高齢者社会を迎える我が国の状況を見据え、従来の歯科医学会分化会認定専門医とは異なる、歯科管理型、在宅支援型、診療科目別型といった専門医のイメージのもと、日歯としてその専門性を確立する項目として、

1．専門性の高い歯科医師の育成
2．国民に見えやすい歯科専門性の確立
3．各学会の認定基準等の見直しによる質の確保
4．歯科医師のキャリアパスの構築
5．生涯研修制度の充実による歯科医療の向上

また日歯の歯科医療の専門性を確立する目的として、

1．歯科医師のキャリアパスの構築
2．歯科医療需要の変化に即した専門性の高い歯科医師の育成
3．地域包括医療、病院歯科の充実を担う専門医の育成
4．各学会の認定基準見直しによる質の確保
5．解りやすい専門医、標榜科目の認定
6．女性歯科医師の活躍機会の提供
7．高齢社会における歯科医療活動域の拡大

様々なテーマについて議論する

8．入会促進による組織力強化

以上により新しい専門医制度のビジョンについて説明がなされた。

また2020年の東京オリンピック、パラリンピックへの歯科的サポート概要について、

・ポリクリニックの整備運営
・競技会場への歯科医師臨場派遣
・競技団体からの要請に応じた歯科医師の帯同協力
・競技中の歯科傷害への対応（現場、搬送）
・競技開催県歯科医師会への協力要請
・オリンピック観戦旅行者への歯科医療提供

また、オリンピック・パラリンピックに対する歯科的サポートに関する日歯の協議会の設置についても説明された。

続いて各県が事前に提出した協議事項について、

1．スポーツデンティストの育成（佐賀県）
2．県歯学術講演会への参加率およびその対策（長崎県）
3．BP製剤の対応（熊本県）
4．各県の平成27・28年度に開催された学術講演会テーマ・講師（宮崎県）
5．研修会の効率的な運用（鹿児島県）
6．有料研修会の役割（鹿児島県）
7．各県における倫理委員会の設置状況（沖縄県）
8．「県内のスタディーグループ発表会」開催にあたっての各県の取り組み（大分県）

以上について、提案理由とそれについての各県からの事前回答をもとに、白熱した議論がなされ、各県が抱える課題を共有した。

減少する予算の中で、いかに有効な学術事業を行うかということが大きな課題であると感じた。

最後に、日歯への要望・質問に関して、

1．歯科用デジタル関連の今後の保険導入についての見解（福岡県）
2．高齢化社会における、歯科医師需給の見通しと保険診療範囲についての見解（福岡県）
3．オリンピックなどビッグイベント後のスポーツデンティストの活用方法（福岡県）
4．長寿化社会に適応した新たな歯科医療のモデルについての見解（福岡県）

以上４項目は協議の大幅な時間超過により福岡県により取り下げられた。

5．オーラルフレイル（佐賀県）
6．産業歯科医への対応（長崎県）
7．BPガイドラインの作成（熊本県）
8．日歯における総合歯科専門医制度のその後の進捗状況に（熊本県）
9．日歯生涯研修の会員の単位取得向上のため、常に成績上位県（千葉など）の取り組み方を日歯のレポートとして公表してほしい。（鹿児島県）
10．日歯として、各県レベルでの倫理委員会の発足に関しての見解（沖縄県）
11．「歯科における専門医制度」において、その進行状況と今後の展開と開業医としての関わり方、また「日歯生涯研修事業」においての単位取得データによる順位付けの意義、単位取得に対する優位性についての考え（大分県）
12．オリンピックなどスポーツビッグイベントに向けた歯科医師会の取り組み、今後のスポーツデンティストの知名度向上のための働きかけ（大分県）
13．医科歯科連携の重要性が増す中、医科の対応の変化、今後の展望について、さらに他職種連携などを先進的に行う地域があれば事例として紹介して欲しい。（大分県）

以上の項目について、協議の時間が大幅に超過したため、また日歯会務報告に包含される内容もあり、歯科医師の職域の拡大、他職種との連携強化、歯科医師会員であることのアドバンテージ構築といった主旨で限られた時間の中、佐藤理事より丁寧な回答がなされた後、充実した会議は終了した。

（馬場　一英）

委員会報告

# 平成30年度診療報酬改定に生かす

## ― 九州各県社保担当者会 ―

社会保険

10月７日（土）午後２時より佐賀県歯会館にて九州各県社保担当者会が開催された。本会からは、椿常務理事、田中理事、桐野委員長が出席した。佐賀県歯会館は新築の会館で、会議としての使用は最初であり新築の木の香りが残る綺麗な会館での会議となった。

式部佐賀県歯副委員長の司会で会議は始まり、塚本佐賀県歯副会長の開会の挨拶、寺尾佐賀県歯会長、遠藤日歯常務理事の挨拶に続き、出席者紹介があった。遠藤日歯常務理事の日歯報告に続き、東島佐賀県歯理事を座長、根井宮崎県歯常務理事を副座長として協議が進行した。⑴各県社保関係事業計画及び予算、⑵各県提出協議題、⑶日歯への質問・要望について、提案県の説明と各県の回答があった。各県提出議題は19題、日歯への質問、要望は10題の提出があり、その他の協議では、宮崎県では歯科の介護保険個別指導が始められ、佐賀県では平成30年より開始予定であることが

19題の協議題、10題の日歯への質問・要望が話し合われた

報告された。会議は午後５時40分頃に少し時間を超過して終了した。会議の成果を平成30年度診療報酬改定及び介護保険改定の準備に生かせるように、委員会として作業を進めていきたいと考えている。

（桐野　美孝）

委員会報告

# 様々な提出議題について話し合う

## ― 九州各県広報担当者会 ―

### 広報

10月７日（土）午後２時より宮崎県歯会館４階ホールにて開催された。本県からは竹下理事、永廣委員長の２人が会議に出席した。高橋宮崎県歯副会長の開会の辞に始まり、重城宮崎県歯会長、続いて藤原日歯理事より挨拶があった。座長に崎山宮崎県歯理事、副座長に仲野大分県歯理事が選出された後、藤原日歯理事より日歯報告があった。

協議

⑴平成29年度各県広報関係事業計画及び予算

⑵各県提出議題

１．歯科医師会発足の節目に於いての、年史や記念誌等の発行

各県で記念史が発行されて、制作に多額の費用、多大な労力が費やされている。会員にはあまり見られていないが、紙で資料として記録に残すことは重要であるとの結論であった。

２．県民に対する歯科医師会のPR活動、口腔衛生啓発に関しての取り組み

大分県では日歯キャラクター「よ坊さん」を使ったキズテープを作って、口腔衛生事業等で配っているとの事、又沖縄県では「毎月８日は歯ブラシの日」を制定しているとの事。

３．会員からの意見・要望の広聴

宮崎県、福岡県でアンケート調査を行っている。会員の生の声が聞けるそうだ。宮崎県では２年に１度、回答率が37パーセント。福岡県は３年に１度で25パーセントの回答率。

４．ＰＲ素材として、ネットや雑誌からの写真やデータの引用

ネットや雑誌などから引用する場合は使用許諾を得たうえで行う必要がある。又県によっては、写真やイラストを購入して使用するケースもあるそうだ。

各県からの質問に答える竹下理事

５．関係官庁並びに諸団体との連携

ほとんどの県で地元の議員、県庁、マスコミ関係者などとの情報交換を行う場を設けていた。

６．ホームページへの取り組み

各県においてホームページ上で一番閲覧されているのは、休日当番医の情報であった。福岡県では会員専用で、事務局によくある問い合わせのＱ＆Ａを載せている。ホームページ上で会員への事務連絡、お知らせをしているとの事。大分県では月１回委員会、事務局、業者が集まりホームページ更新内容を話し合っているとの事。

⑶日歯への要望及び質問

日歯が東京オリンピック・パラリンピックに積極的に関わる姿を広報することは、日本国民に歯・口の重要性をアピールする絶好の機会と考えられる。

「回答」

選手がマウスガードを使用することで、競技中歯の安全が保てることを国民にアピールする。また選手村で歯・口に関するサポートを行う。メインサポートではなくオフィシャルサポートを行う予定であるとの事。

協議終了後、次期開催県である仲野大分県歯理事による挨拶があり、続いて黒木宮崎県歯専務理事の閉会の辞で会議は終了した。

（永廣　有伸）

委員会報告

# 患者さんと良好な関係を築いていけるように対応

## ― 九州各県歯科医療安全担当者会 ―

医療対策

10月21日（土）午後３時より沖縄県口腔保健医療センター（２階大研修室）において、九州各県歯科医療安全担当者会が行われた。台風21号の影響で開催が危ぶまれる中、本県からは永松理事と共に参加した。

渡慶次沖縄県歯理事より開会の挨拶があり、次に真境名沖縄県歯会長、三井日歯常務理事より挨拶があった。

協議に入る前に三井日歯常務理事より日歯報告があり、医療事故調査制度の現状などの報告があった。日歯でもこの制度に関しては、色々と問題があり、まだまだ課題があるようだった。

次に平成29年度九州各県医療安全対策関係事業計画および予算についての報告があった。各県共に会員が安心して毎日の診療ができ、患者さんとも良好な関係を築いていけるように色々な講演会や会員同士の意見交換会などを開催しているようで、各県とも限られた予算の中、会員のために試行錯誤しているようだった。

その後、各県提出議題の協議に入り、まず福岡県からは、BP製剤等の投薬されている患者への問診についての議題が挙がった。近年BP製剤による顎骨壊死やホルマリン等によるアレルギーが発生する事案が多くなってきている事が提案理由であった。各県とも口頭での確認や院内ポスター等で対応しているという回答が多かった。佐賀県からは医療事故調査制度についての議題が挙がったが、日歯からの報告や各県ともセミナー等や会議を行っているという回答であった。次に、長崎県からは、大学病院の歯科医師の患者への前医批判についての協議題が提出された。研修会等で注意喚起を行ったり、大学病院と意見交換会を開催しているという回答が多かった。本県からは治療費不払いの患者への対応について協議題を提出した。近年、本県でも数件の相談があり、各県においてどのような対応

様々な議題について話し合う

をおこなっているか回答を聞くと、やはり法的手段しかないという意見が多かった。鹿児島県からは医療広告に関する対応についての協議題が提出されたが、各県において対応はまちまちであった。宮崎県からは、長期にわたる医療苦情に対する対応についての協議題では、各県とも顧問弁護士に対応をお願いするという回答が多かった。最後に沖縄県からは顧問社会保険労務士についての協議題が挙げられた。各県と活発な意見交換ができ、とても有意義なものになった。

その後、休憩を挟んで、弁護士法人近畿フロンティア法律事務所の金子敬之弁護士により「医療安全担当者の役割」という演題で特別講演が行われた。金子弁護士のご兄弟も沖縄県で歯科医院を開業されているという事で、歯科医師側を考えた講演であった。実際に事例を挙げて、参加者でディスカッションをしながら進める講演内容で非常に興味深いものであった。

最後に次期開催県である脇田大分県歯副会長より挨拶があり、長嶺沖縄県歯委員長の閉会の辞で会議は終了した。

これからも医療対策委員会全員で、会員と患者の医療トラブルにしっかりと対応していきたいと思いますのでどうぞご協力宜しくお願い致します。

（椿　賢）

委員会報告

# 今後の医療管理事業に役立てるように

## ― 九州各県医療管理担当者会 ―

厚生・医療管理

10月７日（土）午後２時より、鹿児島県歯会館にて九州各県医療管理担当者会が開催された。本県からは、宮井理事と工藤副委員長が出席した。

伊地知鹿児島県歯会長の挨拶にて開会した後、出席者紹介、座長・副座長選出に続き、日歯の三井常務理事より下記の７点について報告が行われた。

１．日本歯科医師会における医療安全への取り組み
２．医療事故調査制度
３．平成29年度税制改正要望関係
４．医療機関のウェブサイト
５．医療法等の一部改正（医療広告）
６．歯科衛生士の人材確保対策
７．歯科技工士の人材確保対策

引き続いて以下の内容で協議が行われた。

⑴平成29年度各県医療管理関係事業計画及び予算

⑵各県より提出された10の協議題

１．日本歯科医療管理学会の入会状況（福岡県）
２．労務関係トラブル時の県歯の対応（佐賀県）
３．感染症対策に関する研修会等（長崎県）
４．県歯が主催する医療管理講習会等（大分県）
５．患者紹介システム業者とのトラブル（大分県）
６．診療時のグローブの使いまわし報道の対応（熊本県）
７．診療所における歯科医師のパワハラ事例（宮崎県）
８．歯科衛生士の復職支援事業（宮崎県）
９．歯と口の健康づくりの啓発・普及に対する取り組み（沖縄県）
10．医療広告に対する会員への指導（鹿児島県）

本県から２人が出席

⑶日歯への質問及び要望

１．都道府県災害・警察歯科担当理事連絡協議会の提出資料作成の時間を十分とってほしい（福岡県）
２．歯科衛生士と歯科助手の業務内容についての見解（佐賀県）
３．歯科衛生士の復職支援（長崎県）
４．歯科衛生士PRテレビCMの作成（大分県）
５．改正医療法によるホームページへの記載制限（熊本県）
６．ダウンロード形式の資料提供でなく製本版の提供（宮崎県）
７．離職歯科衛生士の把握（鹿児島県）
８．歯科医療における滅菌コストへの手当て（鹿児島県）

会議は、約４時間弱に及んだ。ハンドピースに代表される感染予防対策（スタンダードプリコーション周知徹底）、歯科衛生士・歯科技工士の人材不足問題、労務管理、医療法等の一部改正による広告規制の見直しなど、幅広い内容であり熱気に満ちていた。各県とも担当者は、情報を自県に持ち帰り今後の医療管理事業に役立てていかれることであろう。

（工藤　智明）

委員会報告

# 患者も納得する自費義歯治療

## ― モリタ共催学術講演会 ―

学術

10月29日（日）午前10時より県歯会館４階ホールにて、東京都開業の天井久代デンタルクリニック院長を講師に「超高齢社会！患者も納得　自費義歯治療のノウハウ」の演題で開催された。天井院長はハイジニストとなられてから、経営学を修得された後歯科医師になられた幅広い経歴の持ち主で、多彩な趣味においても著書がある方である。

まず我が国（日本）の人口統計を基に、今後の歯科医療の見通し、歯科における保険診療の功罪、安価に歯科サービスを受けられるため国民の意識が予防に向かいにくいという持論を展開した。

続いて日常臨床の流れに沿って、破折、疼痛といった理由で来院された患者さんへの対応法、主訴改善後のカウンセリングの進め方、患者の理解を求めるには「義歯は食べるためのものでなく、残存歯を守るもの、すなわち夜間も装着することを常とする。」という自身の概念を、自分が治療した症例アルバムを患者に提示しながら説明するポイントを解説された。

仮義歯のセット時は抜歯を極力行わず、歯冠のカットのみにして患者に与える不快感は義歯の異物感のみにとどめるようにし、後日抜歯をする際は「抜歯」という表現をつかわず、「とる」といったマイルドな表現で説明することも大切である。

本義歯作製について、一次印象は、舌小帯、アーラインを確認し、ハヤシ製の網トレーをユーティリティーワックスでカスタマイズし、アルフレックスデンチャー（モリタ製）などのアルジネート印象材（固練り）を使用する。設計前に歯の動揺度、骨隆起、粘膜の厚みなどを記録しテクニシャン（歯科技工士）に伝達する。少数歯残存の場合はレストシートを設けず、柔らかさ、しなりを有す白金加金ワイヤークラスプを応用し「粘膜負担」とする。上顎においては発音を考慮し前パラタルバーとする。

多数の症例に見入る受講者

咬合採得は、座位で行う事が基本で、「噛んで」ではなく「閉じて」と指示することが重要である。

試適・最終印象は、上顎をインジェクションタイプ、下顎をレギュラータイプで行なう。

完成義歯装着時の咬合調整は、残存少数歯は噛ませず確認はOHKI製の咬合紙を３か月油抜きしたもの（電話帳などに挟む）を使用し、患者は座位で目を開けて噛んでもらう。

詳細は平衡測の当たりをとって、機能咬頭の面取り（できるだけ小さい面、点状に咬合接触させる）をする。

さらに義歯の効果として期待されることは、食事が楽しい、歩ける、夜もはずさなくていい、自然に話せる、痛くない、若返る、また義歯の不快項目とその対策は、痛い⇒マルデ法（ヨウド使用）、噛めない⇒陶歯使用（認知症の防止）、バレる⇒審美義歯、夜外す⇒外さない（誤嚥防止）、すぐ合わなくなる⇒修理＋リベース＋最終印象、しゃべれない⇒設計＋使用方法の各項目について解説された。

自費移行のポイントは、①お金の話をしない、②何を求めているか聞きだす、③症例を見せる、④可能性を説明、⑤インプラントより安心ということを強調する。以上５項目を抑えたうえで、クライアントとしての患者は、スタッフからよりもドクターによるカウンセリングを望んでいる事を力説した。また自費

個性的でパワフルな
天井院長

義歯を車に例え、①車は高価、②運転免許＝義歯免許（両者ともに取り扱いにインストラクションが必要である）、③車よりも使用頻度が高い、④車は事故を起こす。以上４項目と頻繁に引用される「噛む」ことの８大効果を説いた「ひみこの歯がいいぜ」を用い、①肥満予防、②味覚の発達、③言葉の発音がはっきり、④脳の発達、⑤歯の病気を防ぐ、⑥ガンの予防、⑦胃腸の働きを促進、⑧全身の体力向上と全力投球、を絡めるとしっかりした良い義歯を入れるメリットを訴えやすいとのことだった。

義歯を扱う上でのポイントは、①夜間外さない（誤嚥性肺炎の防止）、②清掃法（自身の入浴時のみ義歯を外し洗浄剤につける、③食事の摂り方（前歯で噛まない、咀嚼時には口唇を開かないetc）、④安定剤は使わない（薬品としての為害性、顎堤吸収の促進）を指摘された。

午後は質問用紙に対する回答から始まり、①少数歯を残す意味とその基準について、回答は基準としては仮義歯を入れ判断することとし、残存歯が一本でもあることにより、特に下顎においては義歯の横揺れが防げる、上顎の場合は吸着の観点より総義歯としたほうが簡便な場合もあるが、ケースバイケースで判断する。②イエローワックスの具体的な使用法について、65℃のお湯で温め、前歯の配列位置をイメージして顎位の記録をとる、訪問診療においても有用な材料であることについて回答された。

続いて演者が事前に準備していた質問項目のうち、聴講者が聞きたい項目を挙手によって募り順番に回答された。①設計、義歯は粘膜負担であること、レストシートをつけるかつけないかは残存歯の状態と欠損の状態を見極めて決定する、骨隆起などのリリーフすべき場所の技工操作について述べられた。②咬合採得、安静位は患者に軽く口唇を閉じて求め、約２ミリ減じたものを高径とする。陶歯を使用することによって、咀嚼効率は増加し、咬合高径は保持され、認知症の予防にもつながる。③義歯装着時の注意点、アンダーカットは安易に削除せず、着脱方向を見極めることにより適合の良い義歯を装着できる。④咬合調整、咬合接触面を小さくすることにより咀嚼効率が増す。

また医院経営についての質問事項にも回答され、①スタッフの目をキラキラさせる、院長のポリシーを確立、年月の目標を立てる、コーチングを学ぶ、給料を手渡しする（叱る⇒褒める）、ボーナスで差をつける、テーマを投げかける、朝礼をする、個々の目標を立てさせる、自己紹介を待合室に出す、看板・ボードを書く、ＰＭＴＣのキックバック、月一回のミーティングをする。②スタッフのモチベーション管理、達成感を味あわせる、自信を待たせる、権限を与える、成功を分かち合う、自主的な判断を尊重する、院長自身が夢を語る。仕事を楽しくさせる為にやってみることについて、看板を考える、プレゼン用の資料を作る、ホームページを立て直す、ワックスアップの練習をする、青伝の整理をする、勉強をする（得意なものを作る）、お話しに出かける、営業に行く。

またスタッフが暇な時にやってみること、①立て看板を作る、②紹介者カードを作る、③プレゼントを作る、④待合室を女性好みにする、⑤歯科衛生士のテーマを考える、⑥エステサロンに行く（フェイス・唇・ＰＭＴＣ）。暇じゃなくてもやること、①フォローアップの電話をする、②全員で食事に行く、③チーフを育てる、④ディーラーさんの名前を呼ぶ、⑤デンタルショーに行く、⑥顔を売る、⑦歯科関係者以外の人と付き合う、⑧遊びに行く、⑨本を読む、⑩映画を見る、⑪趣味を優先する…そして愛される歯科医院になること、と項目立てて解説された。

最後に「義歯の神様」と題して症例を提示され、使用する義歯の状態が改善するにつれて全身状態も改善したケースや良い義歯の人格にも及ぶ影響について説いた。

臨床のみならず、経営、歯科医師の人生設計にまで言及する非常に有意義な講演会であった。

（馬場　一英）

# 笑顔ヘルＣキャンペーン

## 山　鹿　第１回「健康づくりフォーラムINやまが」と共催

10月９日（体育の日）に平成29年度笑顔ヘルCキャンペーンを山鹿市主催の第１回「健康づくりフォーラム IN やまが」のイベントで実施した。午前中は山鹿市スポーツフェスティバルで体力測定やスポーツ体験が多目的グラウンドで行われた。午後の健康づくり講演会では「我がにわか人生・笑いは健康のもと」と題した、ばってん城次さんの講演と「ミニ肥後にわか」があった。

終了後より、参加者は各ブースに立ち寄り健康度測定や薬の相談などを受けていた。われわれ歯の相談ブースにも多数の相談者がみえられ、ペリオスクリーンテストもうけてもらい、歯周病に対する啓発もおこなった。歯の相談ブースの参加者は26人にのぼった。各ブースとも相談や啓発に忙しかったようである。

また、「ノルディクウオーク」や山鹿のよへほ節に合わせた「よへほ体操」などの実演が館内でおこなわれ高齢者の参加が目立った。新しいところでは今後山鹿市と認知症対策において連携協定を結ぶことになる、エーザイ株式会社のブースには臭覚検査のコーナーがあり、認知症早期発見と臭覚に関する研究も進んでいるのが興味深かった。

歯科相談ブースも盛況であった

（宮坂 圭太）

## 上益城郡　２年ぶりの開催で大盛況

10月29日（日）にイオンモール熊本（嘉島町）において、上益城郡歯科医師会主催、上益城郡歯科衛生士会共催による「笑顔ヘルＣキャンペーン」が行われた。

このキャンペーンは当郡の毎年の恒例行事となっていたが、昨年は熊本地震の影響で中止となり２年ぶりの開催となった。

当日はイオンモール熊本にて「木下大サーカス」も行われていたため、熊本県全域、０歳児からご高齢の方まで多数来場され、健診者数、相談数は412人にも上った。1000個用意していた風船も終盤には足らなくなるほどの大盛況であった。

今年度は、より来場者の方々のニーズに応えるべく歯科衛生士会によるブラッシング相談コーナーも設け、健診者の方々も熱心に歯科衛生士の指導に耳を傾けていた。

中でも特に子どもの健診者が多くみられ、保護者の方の子どもの口の健康への関心の高さが伺えたとともに、我々もまだまだやるべき事がたくさんあると身が引き締まる思いであった。

０歳児から高齢者まで多数の来場があった

最後に、打合せから当日最後まで多大なるご協力を頂いたイオンモール熊本の担当者をはじめ、後援頂いた熊本日日新聞社、熊本県歯科医師会、協賛頂いた花王㈱、また、人的・物的に協力頂いたグラクソ・スミスクライン㈱、KAWARYO九州㈱、アサヒプリテック㈱の皆様に、この場を借りて感謝御礼申し上げますとともに、来年度以降も当郡の一大イベントとしてしっかりと務めていきたい。

（石井 洋一）

## 山鹿市歯科医師会

# おめでとうございます

### ― 古希お祝いの会 ―

９月２日（土）午後７時より、山鹿市のホテル眺山庭にて、神山会員古希お祝いの会が催された。神山会員は前山鹿市歯会長を務められており、祝賀と感謝の気持ちを込めた集いとなった。

宮坂会長の祝辞に始まり、記念品贈呈、神山会員の挨拶、写真撮影が行われた。神山会員のおおらかな人柄を映したような和気藹々とした会であった。

現在は御子息の副院長と共に診療されており、古希を迎えられてなお若々しく、現役を続けられている。今後の益々のご活躍とご健康を祈念し、末永く我々のお手本であり続けて頂きたいと願っている。

（赤星　一郎）

宮坂会長から神山会員への記念品贈呈

## 阿蘇郡市歯科医師会

# 共通の問題点について活発な議論

### ― 第29回城北地区役員連絡協議会 ―

９月30日（土）午後４時よりホテル日航熊本にて城北地区役員連絡協議会及び懇親会を、県歯より浦田会長、渡辺・伊藤副会長をお招きして阿蘇郡市の担当で開催された。

協議会では、浦田会長の来賓挨拶及び武藤阿蘇郡市歯会長の挨拶に続いて、各郡市から提出された２つの協議題と５つの質問事項について活発な意見交換が交わされた。

会員近接場所での新規開業やデンタルスタッフの不足等、郡部地域での共通の問題点等について活発に議論され、次期担当の田中荒尾市歯会長の挨拶で閉会となった。

引き続き同ホテルで懇親会が開かれ、渡辺副会長の挨拶、伊藤副会長の乾杯の発声で幕が開き、折しも同ホテルで行われていた「シニア倶楽部」に参加されていた諸先輩方の乱入もあり大盛況の中、市原阿蘇郡市前会長の締めの言葉でお開きとなった。

活発な意見交換が交わされた

新会長の下での船出となった郡市歯会が多く他郡市の役員間の連携を図るうえでも貴重な協議会であったと思われる。

最後になりましたが、事前質問及び回答作成等にご協力いただきました各郡市専務理事の方々に厚く御礼申し上げます。

（安光　千昭）

郡市会報告

## 玉名郡市歯科医師会

# １人の新入会員を迎えて

— 福寿会 —

10月19日（木）午後７時30分より玉名温泉「さつき別荘」にて福寿会が開催された。この会はその年に還暦を迎える会員を新入会員としてお迎えして、長寿のお祝いをすると共に会の発展へのご尽力に感謝の意を表す場として宴席を設けている。今年度は１人増えて26人となった。福寿会会員と執行部合わせて22人の参加があった。

会が始まる前に参加者全員で記念写真を撮った。まず髙﨑会長より「福寿会の皆さんは昔の同じ世代と比較すると気力、体力共にとても充実しているので、これからも会のために尽力してほしい」と挨拶があり、次に新入会の冨永浩義会員より「還暦という節目を迎え、健康を保つために注意を払いたい。又執行部の皆さん、この様な会を催して頂きありがとうございます。」と述べられた。続いて福寿会を代表して杉尾会員のお祝いの挨拶の後、宴会が始まった。宴会ではおいしい料理にお酒も進み、会員旅行の思い出やお互いの近況などを語りあった。最後に増田憲元会員の万歳三唱でお開きとなった。来年も皆さんが元気に参加できることを願っております。

新入会の冨永会員を囲んで

（永廣 有伸）

①今もっとも関心のあることを教えてください。
②自分が希望する歯科診療とはどのようなものだとお考えですか。
③他の歯科医院にはない自分の医院の特色を教えてください。
④今後の抱負は何ですか。

## 第２種会員

渡邉　康
（ワタナベ　ヤスシ）

熊本市北区楠8-9-8

渡辺歯科医院

①10ヶ月になる娘の成長と、巨人軍がどう立ち直るかです。
②赤ちゃんからお年寄りまでみなさん仲良く歯科治療を受けられる優しくあたたかい歯科医院を目指しております。
③歯科用レーザーに興味があり、予防から歯周外科まで幅広く応用している点です。
④歯科医師会に入会してたくさん勉強していきたいと思いますので会員の皆様宜しくお願い致します。

リレー投稿 12

# ヨット

宇土郡市　近藤 俊輔

宇土にて開業し、諸先生方やスタッフのおかげで6年目を迎えることができました。日々感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

現在、歯科医師会剣道部に所属しております。小中高と剣道部に所属しておりましたが、大学時代はヨット部でした。剣道については、僕以外に適任の先生が複数いらっしゃいますので、今回はヨットについて書いてみます。

大学入学時、剣道部から勧誘を受けましたが、臭い、暑い、もてなさそう、などの理由からお断りし、ヨット部に入部しました。福歯大の剣道部の皆様すいませんでした。

ヨット競技は、海上にブイを複数置き、風上に行ったり風下に行ったりしながら、コースを回り順位を争います。

スタートとゴールは海上に線は引けませんので、ブイと審判が乗っている本船のマストをラインとします。ゴールは問題ありませんが、スタートは極めて混乱します。まず、本船から離れたところでの、スタートや強風だとスタートのフォーンが聞こえません。あらかじめ、何時何分にスタートと決め、当然みんな腕時計をします。参加する船すべてが、その時刻にスピードが乗った状態でラインを切りたいので、少し離れたところに、なんとなく船が直線状に並び、逆算してみんな加速をはじめ、トップスピードでのスタートを目指します。ただ、スタート時には、隣の船のセイルでブイ、本船とも見えませんので、スタートが切れたかどうか、付近の船みんなでフライングなのか全く分かりません。あまりにラインが崩れて、フライングの船が多すぎると、フォーンが鳴り再スタートになります。ただ、よほど微風で無い限り、聞こえないので、本船の揚げる旗や周りの船の動向をみて初めて、再スタートだと分かります。

僕自身、ヨットに優雅なイメージを持っていましたが、デンタルではスナイプ級といって二人乗りの船に、時には無理な体勢で乗ります。特に大変なのは強風のときに、風上に向かって斜め前に進む時で、船が風下側に傾くのを防ぐ必要があります。なぜヨットが風上側に斜めに進めるかと言うと……。あと、なぜセイルが前後2枚あるかというと……。ここは面白いところですが、長くなりますので、恐縮ですが検索をお願いします。風上に行くときは例えば右斜め前に進み、途中で、左斜めに方向転換、タックを繰り返して風上に向かいます。大きなヨットだと、風上側にみんなで移動し船の傾きを抑えますが、小さなヨットは船内のベルトに足先だけかけて、お尻から上は可能な限り船の外に出します。ハイクアウトといいます。腹筋を相当使います。微風で風上側に進む際は、船のやや風下側にのって、セイルの形をきれいにすると進みます。進み出すと相対的に風速が増すので、ますます加速するところがおもしろいところです。風上に向かってみんながジグザグに進みますので、進路が交差し当然ぶつかりそう

になることもあります。そのときは、相手が左舷側に見える船（右舷艇：スタボー艇）が優先しますので、相手のほう（左舷艇：ポート艇）はこれをよけるように航行します。ここで、興味深いのはスタボー艇は基本的に、その進路を速度も含め変更してはいけないルールになっていることです。お互いよけようとして、ぶつかる可能性もあるし、速度を落としても、ぎりぎり後ろを行きたかったのに、速度を落とされたためにぶつかる可能性もあるためです。これは、競技としてのヨットだけの話でなくて、フェリーや軍艦にも国際的に適応されるルールです。ただし、港湾内などでは、タンカーなど喫水の大きな船は浅いところは進めないことなどから独自のルールがあります。船どうしがぶつかるニュースを時折耳にしますが、解説される方にこの知識があると、だいぶ深い解説になります。かつてヨットでの太平洋横断に挑戦された、キャスターの辛抱治朗さんの解説は格別です。ヨットで風下に向かっているときは、風、波と同じ方向に進みますので、風上に向かう時よりも、速度を感じません。前後２つあるセイルを左右に張り出して、うしろから風を受けて走ります。ただ２つのセイルの大きさが違いますので、風下に行くときも、風下に向かってやや斜めに進んだほうが効率的です。

アメリカズカップが昨年福岡で行われ、練習していた海域が使われるため、われわれＯＢは大いに盛り上がりました。去年の優勝者と、予選であるルイビトンカップの優勝者で行われます。日本ではソフトバンクなどがスポンサーになっていましたが、イタリアのプラダもチームを持っており、ルイビトンのロゴが入った大きなブイをプラダのロゴが入ったヨットが回航したりします。

海遊びに興味があるかた、船舶免許をお持ちの方はよろしければ、
メール（syunsukekondo777@yahoo.co.jp）
にてご一報ください。情報交換のための懇親会を企画します。

次は以前の同僚で国府高校近くで開業の、甲斐田光会員にお願いします。

# 会　務　報　告

自　平成29年９月25日
至　平成29年10月22日

| 所管 | 日付 | 摘要 | 出務者 |
|---|---|---|---|
| 総　務 | ９月25日 | 労務管理打合せ | 牛島専務理事、八木常務理事 |
| | | 荒木泰臣氏全国町村会会長就任祝賀会（ホテル日航熊本） | 浦田会長 |
| | 27日 | 九州地方社会保険医療協議会熊本部会（九州厚生局熊本事務所） | 椿常務理事 |
| | | 支払基金熊本支部長との面談 | 浦田会長 |
| | | 第５回理事会<br>【承認事項】<br>（１）新入会員の承認（２）関係機関・団体からの役員等の推薦依頼（３）共催名義の使用依頼　ほか<br>【議　題】<br>（１）任期満了に伴う熊本県警察歯科医会役員（２）平成29年度二地区役員連絡協議会の提出協議題（３）城北地区歯科医師会役員連絡協議会の協議題　ほか | 浦田会長他宮井理事を除く全役員 |
| | 28日 | 第17回警察歯科医会全国大会第１回実行委員会<br>（１）来賓出席依頼（２）講師派遣依頼（３）実行委員会の運営と役割分担 | 浦田会長、上田実行委員長他10名 |
| | 29日 | グループ補助金交付申請説明会<br>受講者：９名 | 小島副会長、八木常務理事 |
| | | 第２回選挙管理委員会<br>（１）役員等選挙規則の一部改正（２）会長予備選挙及び役員等選挙実施要領の一部改正<br>（３）役員等選挙規則一部改正成立までの流れ | 山口委員長他全委員、渡辺副会長、牛島専務理事 |
| | 30日 | 月次監査<br>８月末会計現況監査 | 中嶋・西野監事 |
| | | 城北地区役員連絡協議会（ホテル日航熊本） | 浦田会長、渡辺・伊藤副会長 |
| | 10月４日 | 支払基金本部専務理事との面談 | 浦田会長 |
| | | 第７回常務理事会<br>（１）新入会員の承認（２）各郡市会長・専務理事連絡協議会への提出資料（３）むし歯予防全国大会懇親会への役員出席　ほか | 浦田会長他全常務理事以上全役員 |
| | ５日 | 第65回全国調停委員大会（東京国際フォーラム） | 前野会員 |
| | | 故田中穣会員（上益城郡）告別式弔辞奉呈（熊本市） | 渡辺副会長 |
| | | 熊本空港緊急計画連絡協議会（熊本空港事務所） | 奥村次長 |
| | ６日 | 第１回県後期高齢者医療運営協議会（県後期高齢者医療広域連合） | 田上常務理事 |
| | | 県議会議員との懇談会（熊本市） | 浦田会長他常務理事以上全役員、大林・松本・竹下・宇治理事、澤田事務局長 |
| | | くま歯キャラバン隊（荒尾市）（荒尾市中央公民館）<br>（１）点数アップの為の保険診療のポイント<br>受講者：21名 | 田中理事 |
| | ７日 | 第70回九州歯科医学大会第62回剣道大会壮行会（熊本市） | 伊藤副会長 |
| | 10日 | 県健康福祉部との懇談会（熊本市） | 浦田会長他常務理事以上全役員、大林・松本・竹下・宮井・赤尾・宇治理事、澤田事務局長、奥村次長 |
| | 11日 | 第792回支払基金幹事会（支払基金） | 浦田会長 |
| | 13日 | 県教育庁との懇談会（熊本市） | 浦田会長他伊藤副会長椿常務理事を除く常務理事以上全役員、大林・宇治理事、奥村次長 |
| | 14日 | 九地連役員会（iichiko総合文化センター） | 浦田会長 |
| | | 第70回九州歯科医学大会受付事務職員説明会（iichiko総合文化センター） | 澤田事務局長他４名 |
| | | 第70回九州歯科医学大会（iichiko総合文化センター）<br>本県参加者：24名（会員24名、スタッフ０名） | 浦田会長、牛島専務理事 |
| | 15日 | 第70回九州歯科医学大会厚生行事（大分県内各所）<br>剣道、ゴルフ、ボウリング、囲碁 | 浦田会長、小島・伊藤副会長、牛島専務理事他２役員 |
| | 16日 | グループ補助金交付申請のための書類審査会<br>参加者：10名 | |
| | | 第２回財務検討臨時委員会<br>（１）終身会員増加による均等割・収入割会費の推移予測（２）終身会員を段階的に引き上げた場合の会費収入予測（３）九州各県入会金、会費、負担金と比較した場合の本会会費のあり方 | 菅原委員長他全委員、渡辺副会長、牛島専務理事、八木常務理事、竹下理事 |
| | 17日 | 第８回常務理事会<br>（１）事業企画書(案)（２）一般社団法人熊本県歯科医師会役員等選挙規則の一部改正(案)<br>（３）一般社団法人熊本県歯科医師会予備選挙及び役員等選挙実施要領の一部改正(案)　ほか | 浦田会長他常務理事以上全役員、宇治理事 |
| | | 中小企業等グループ補助金事業実績報告書に係る説明会<br>（１）事業実績報告書の提出関する説明<br>参加者：18名 | 宮井理事 |
| | 18日 | 県との第７次保健医療計画に係る打合せ | 浦田会長 |
| | 19日 | 県PTA共済審査委員会（県総合福祉センター） | 西野監事 |
| | 20日 | 航空機事故対応総合防災訓練（熊本空港） | 渡辺副会長、赤尾理事他９名 |
| | 21日 | 社会歯科学会秋期研修会（第１日目）（神奈川県歯会館） | 田上常務理事、松本理事 |
| | 22日 | 社会歯科学会秋期研修会（第２日目）（神奈川県歯会館） | 田上常務理事、松本理事 |
| 学　術 | ９月30日 | 九州各県学術担当者会（大分県歯会館） | 井上理事、馬場委員長 |
| | 10月20日 | 学術委員会<br>（１）九州各県学術担当者会報告（２）㈱モリタ共催学術講演会（３）H30年度事業計画書　ほか | 椿常務理事、井上理事、馬場委員長他全委員 |
| 社会保険 | ９月28日 | 保険集団的個別指導（ユースピア熊本） | 田中理事 |
| | 29日 | 保険個別指導（九州厚生局熊本事務所） | 田中理事 |
| | 30日 | シニア倶楽部社保研修会（熊本市現代美術館研修室）<br>受講者：20名 | 椿常務理事、田中理事、井口・橋本・野田副委員長 |
| | | 社会保険個別相談会<br>相談者：１名 | 舩津・市川委員 |
| | 10月５日 | 国保連合会との勉強会<br>出席者：16名（歯科審査委員等９名、連合会職員７名） | 田中理事、中嶋監事 |
| | | レセプトチェックセンター<br>相談者：２名 | 田中理事 |

| 所管 | 日付 | 摘要 | 出務者 |
|---|---|---|---|
| 社会保険 | 7日 | 九州各県社会保険担当者会（佐賀県歯会館） | 椿常務理事、田中理事、桐野委員長 |
| | 12日 | 保険個別指導（KKRホテル熊本） | 井口副委員長、園田委員 |
| | 16日 | 社会保険指導者研修会（東京・日本教育会館） | 椿常務理事、田中理事 |
| | 19日 | 県における医療費の見通しに関する計画検討委員会（県庁） | 椿常務理事 |
| | 21日 | 社会保険個別相談会<br>相談者：１名 | 桐野委員長他３名 |
| | | 社会保険委員会<br>（１）会員向け発行物（２）指導立会者、個別相談対応（３）報告事項と今後の日程 | 田中理事、桐野委員長他９委員 |
| 地域保健 | 9月25日 | センター・介護、地域保健合同委員会<br>（１）平成29年度九州各県地域保健担当者会 | 田上常務理事、赤尾理事、郷原委員長他６委員 |
| | 28日 | 第１回県国民健康保険運営協議会（ホテル熊本テルサ）<br>（１）国民健康保険事業費納付金及び標準保険料率の算定方法（案）（２）県国民健康保険運営方針（素案） | 田上常務理事 |
| | 10月6日 | くまもと21ヘルスプラン推進委員会及び県地域・職域連携推進協議会（くまもとテルサ） | 赤尾理事 |
| | 10月7日 | 協会けんぽスモールチェンジ・生活歯援プログラム健診（株式会社内田陸運）<br>受診者：16名 | 歯科衛生士２名 |
| | | 九州各県地域保健担当者会<br>（１）日歯報告（２）日本歯科医師会への要望及び質問（３）各県提出協議題 | 浦田会長、渡辺副会長、田上常務理事、赤尾理事全委員 |
| | 11日 | 第３回県へき地保健医療対策ワーキング（県庁）<br>（１）第７次熊本県保健医療計画の素案 | 赤尾理事 |
| | 16日 | 県糖尿病対策推進会議（県医師会館） | 赤尾理事 |
| 広　報 | 10月7日 | 九州各県広報担当者会（宮崎県歯会館） | 竹下理事、永廣委員長 |
| | 10日 | 広報小委員会<br>（１）会報11月号編集・第１校校正 | 秋山副委員長他２委員 |
| | 18日 | 広報小委員会<br>（１）会報11月号第２校校正（２）今後の会報作成等日程 | 竹下理事、永廣委員長他３委員 |
| | 19日 | 笑顔ヘルＣ写真コンクール審査会<br>応募総数：103点 | 竹下理事 |
| 学校歯科 | 9月26日 | 天草市立河浦小学校優良校表彰実地診査（天草市立河浦小学校） | 野村日学歯常務理事、大林理事 |
| | 26日 | むし歯予防全国大会第３回実行委員会<br>（１）実行委員会の委員追加（２）参加申込状況　ほか | 渡辺副会長、牛島専務理事、八木常務理事、大林理事、河原委員長、井手会員 |
| | 10月3日 | 第39回むし歯予防全国大会シンポジスト打合せ<br>（１）全国大会打合せ | 渡辺専務理事、大林理事、河原委員長 |
| | 4日 | 学校歯科委員会<br>（１）むし歯予防全国大会打合せ（２）業務分担確認（３）懇親会打合せ　ほか | 渡辺副会長、大林理事、河原委員長他全委員 |
| | 16日 | 第39回むし歯予防全国大会打合せ<br>（１）全国大会最終打合せ | 渡辺副会長、大林理事、河原委員長、石井副委員長 |
| | 18日 | 日学歯広報委員会（日歯会館） | 大林理事 |
| | 21日 | 第39回むし歯予防全国大会in KUMAMOTO（くまもと森都心プラザ）<br>参加者：357名 | 浦田会長、渡辺副会長、牛島専務理事、八木常務理事、大林理事、河原委員長他全委員 |
| 医療対策 | 9月25日 | 医療相談 | 永松理事、岡田委員長他３委員 |
| | 28日 | 医療対策小委員会<br>（１）製本の内容の検討 | 岡田委員長他３委員 |
| | 10月4日 | 医療相談<br>（１）医療相談 | 永松理事、岡田委員長他３委員 |
| | 11日 | 医療相談 | 永松理事、岡田委員長 |
| | 16日 | 医療対策委員会<br>（１）事例報告検討（２）日常臨床と法、各種報告書および同意書等の改訂（３）医療対策講演会　ほか | 永松理事、岡田委員長他全委員 |
| | 21日 | 九州各県歯科医療安全対策担当者会（沖縄県口腔保健医療センター） | 永松理事、椿副委員長 |
| センター・介護 | 9月25日 | センター・介護、地域保健合同委員会<br>（１）平成29年度九州各県地域保健担当者会 | 松本理事、平井委員長他全委員 |
| | 30日 | “他職種でつなげる食支援”アドバンスコース（第２回）<br>ユマニチュード認定インストラクター、独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所福祉と生活ケア研究チーム 伊東 美緒研究員<br>受講者：44名 | 小島副会長、田上常務理事、松本理事、平井委員長他６委員 |
| | 10月7日 | 九州各県地域保健担当者会<br>（１）日歯報告（２）日本歯科医師会への要望及び質問（３）各県提出協議題 | 小島副会長、牛島専務理事、松本理事他７委員 |
| | 11日 | 第２回県在宅医療連携体制検討協議会（県庁） | 松本理事 |
| 厚生･医療管理 | 9月30日 | シニア倶楽部（ホテル日航熊本）<br>参加者：36名 | 浦田会長、小島副会長、牛島専務理事、八木常務理事、池嶋委員長他２委員 |
| | 10月7日 | 九州各県医療管理担当者会（鹿児島県歯会館） | 宮井理事、工藤副委員長 |
| | | 九州各県厚生担当者会（沖縄県口腔保健医療センター） | 八木常務理事、町田委員 |
| 総務･医療連携 | 10月2日 | 総務・医療連携委員会<br>（１）県脳卒中医療推進委員会内容報告（２）会員名簿の広告業者確認（３）スカイプ会議　ほか | 伊藤副会長、宇治理事、三森委員長他全委員 |
| | 12日 | 総務・医療連携小委員会<br>（１）ネット会議の打合せ | 牛島専務理事、宇治理事、三森委員長他１委員 |
| | 13日 | 県医・保・福連携学会第２回企画委員会（県医師会館） | 井上理事 |
| | 16日 | 回復期医科歯科連携事業運営協議会<br>（１）回復期病診連携実績報告（２）クレーム対応（３）平成29年度事業計画　ほか | 伊藤副会長、宇治理事、三森委員長、神崎副委員長 |
| 学　院 | 10月5日 | 第２回学院教務委員会 | 伊藤学院長他全役員、４教務委員 |
| | 16日 | 第１回学院入学試験委員会<br>（１）平成30年度入学試験実施要項(案)（２）学科試験の採点結果の標準偏差（３）合格・不合格　ほか | 伊藤学院長、小島・渡辺副会長、牛島専務理事、牧・林副学院長、弘中教務部長 |
| | 21日 | 学院高校推薦・指定校推薦入学試験 | |
| 国保組合 | 9月26日 | 第３回全歯連理事会（アルカディア市ヶ谷） | 浦田理事長 |
| | | 第１回全歯連調査委員会（アルカディア市ヶ谷） | 浦田理事長 |
| | 10月2日 | 県組合地区国保運営協議会（県医師会館） | 浦田理事長、上野副理事長、桑田常務理事、澤田事務局長、田尻課長補佐 |
| | 12日 | 国保組合事業見直し検討会 | 上野副理事長、桑田常務理事、守永・瀬井理事 |
| | 16日 | 社会保険指導者研修会（東京・日本教育会館） | 上野副理事長 |

# 会員専用グループ保険のご案内

**随時加入募集中**

**グループ保険　Ⅰ 団体定期保険　Ⅱ 新医療保障保険団体型**

## Ⅰ 団体定期保険

充実した保障内容
合理的な 死亡保障 の確保に！

最高3000万円の保障（無診査）が70才まで新設されました

保険金額の増減は毎年自由に変更できます

① 割安な保険料で高額保障
災害に起因する死亡の場合は、災害保険金が上乗せされます

② 最高75歳まで継続更新可能

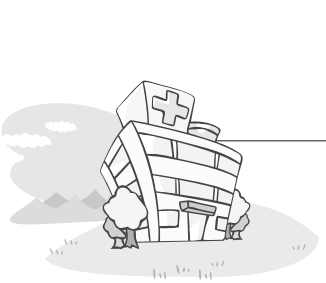
③ 障害給付金･高度障害保険金も準備されます

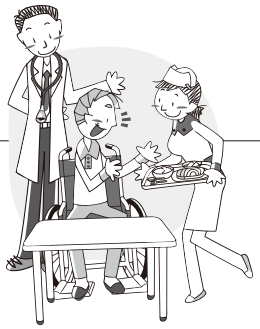
35年以上の長期にわたり、熊本県歯科医師会で会員のために継続している福利厚生制度です。

**随時加入できます**

## Ⅱ 新医療保障保険団体型

ニーズの高い病気入院の保障が
低価格で プラスできます！





① 疾病・傷害、いずれも保障の対象！

② 入院給付金は１日目からお支払します

③ 1入院60日限度　通算1,000日分まで保障

本人プランは入院1日15,000円まで保障

④ 最高89歳まで継続更新可能

⑤ 配偶者･お子様もご加入可能

この保険は当グループ内で１年ごとに収支計算を行ない **剰余金が生じたときは配当金として加入者全員に還元**しています。


お問い合わせ

熊本県歯科医師会 事務局　担当：奥村　TEL096-343-8020

Kumamoto Prefecture Dentistry Medical Association Report
December 2017 No.738

笑顔ヘルC

## 1 主な行事予定 January

| | |
|---|---|
| 4日(木) | 事務局仕事始め |
| 9日(火) | 第13回常務理事会 |
| 17日(水) | 第14回常務理事会 |
| 20日(土) | がん医科歯科連携歯科医師対象研修会 |
| 24日(水) | 第９回理事会 |
| 25日(木) | 回復期病診連携歯科衛生士対象研修会 |
| 27日(土) | 第１回認知症対応力向上研修会（やつしろハーモニーホール） |
| | 第２回各郡市会長・専務理事連絡会議 |
| 28日(日) | 第２回認知症対応力向上研修会 |

熊本県ご当地よ坊さん

熊本県歯科医師会
安心・安全歯科医療推進制度

## 編集者のつぶやき

11／12（日）に上下の繋がった作業服「つなぎ」ではなく津奈木町で開催された、第27回つなぎブロンズマラソン大会（10km）に参加してきました。「ブロンズ」は、水俣病の暗いイメージからの脱却、過疎化に歯止めをかけるため、昭和59年から町のあちこちに見られるブロンズ像に由来しているそうです。私は３年前からマラソンを始めましたが、健康ランナーと言い訳をしながらのんびり走っています。

さて、スタート地点で並んでいると隣に元気そうなおじいちゃん。話を聞いているとなんと後期高齢者（75歳）で、「走る度にどんどん遅くなるばっかり」予想タイムは55～56分かな？１時間を切れない私は何なのよ!? そう言えば、会員にもマラソン、ボウリングと元気なO先生がおられる。

後期高齢者にも負けずにおじさん世代も頑張ろう！

（T. K）

■発行日／2017年12月5日発行　■発行人／浦田　健二
■発行所／一般社団法人 熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4番15号
TEL／096-343-8020　FAX／096-343-0623
URL／http://www.kuma8020.com
■印刷所／コロニー印刷